



コモドオオトカゲ

Winter
2024

H I G A S H I Y A M A

ひがしやま 71

名古屋市東山動植物園情報誌

カナダヤマアラシを 公開しました

今年10月にカナダヤマアラシの「リーフ(オス)」と「カエデ(メス)」を公開しました。北園のアメリカゾーンのカナダヤマアラシ舎で、ご覧いただくことができます。

アラスカ、カナダ、アメリカ合衆国本土などに分布し、半樹上性で針葉樹の細い葉や樹皮を採食します。特徴として、全身に長さ3～4cmのトゲが約3万本生えており、トゲの先は“返し”がついているため、刺さると抜けにくくなっています。

公開後、やはり慣れない環境のためか、まだ動くことは少ないですが、環境に慣れればカナダヤマアラシの動く姿をご覧いただけるかと思えます。ぜひ会いに来てください。

(飼育第二グループ 佐橋)



Contents

- 00 動物園トピックス
「カナダヤマアラシを公開しました」
- 01 動物園長のエッセイ
「来年の干支の動物は蛇」
- 02 飼育レポート
「オワリサンショウウオの保全と飼育下繁殖」
- 04 飼育だより
- 06 動物病院日誌 Vol.70
「治療時の動物の捕獲と保定あれこれ
～有効と安全、最小限の負担で～」
- 07 植物園長のエッセイ
「道具と植物…ほうき」
- 08 植物管理人だより
「松は飛んでナワバリを広げる」
「キシウテンガイの葉の変化と成長」
- 09 東山植物園のレッドリスト植物Vol.27
「チャンチンモドキ」
- 10 植物園 冬の花だより
「冬のおすすめ植物」
- 11 植物園トピックス
「身近な自然を楽しもう(秋編)を開催しました」

表紙／コモドオオトカゲ (*Varanus komodoensis*)

8月23日に一般公開となり、来園したコモドオオトカゲ「タロウ」のお披露目となりました。大変多くのお客様にお越しいただいたなか、タロウは堂々とした姿をみせてくれました。タロウの迫力あるたたずまいをご覧にぜひコモドオオトカゲ舎にお越しください。(文・撮影 佐橋)

東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

申込方法

- ① 動物園内で手続きをしていただく場合
動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。
- ② 郵便振込で手続きをしていただく場合
振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。
サポーター事務局 / 公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340)

来年の干支の動物は蛇

早いもので12月を迎え、今年もあとわずかとなりました。今年にはコアラが来園して40周年という記念の年で、コアラにちなんだ様々なイベントや、10月にはタロンガ動物園からオスの「スカイ」が来園するなど、大いに盛り上がりを見せてきました。そのほかにも、7月にシンガポール動物園からコモドオオカゲの「タロウ」が来園し、日本では唯一ここ東山動植物園でのみ飼育しているこの希少な動物に多くの来園者が興味関心をもっていたり、動物園職員一同、心から嬉しく思っております。

さて、来年は巳年です。干支の動物は「蛇」ということは皆さんご存じかと思いますが、執念深いというイメージのある蛇ですが、恩を忘れずに返す動物とも言われているようです。また、脱皮をする蛇は「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起の良い動物と考えられてきました。さらに、蛇は古くから七福神の「柱」で蓄財や芸能の神である弁財天の使いとして、あるいは弁財天の化身として信仰の対象とされてきました。弁財天とのつながりがあることから「蛇の抜け殻を財布に入れておくと金運がアップする」と言われるのもうなずけるのではないのでしょうか。

東山動植物園では、自然動物館で大きなオオアナコンダや地中に潜るケニアスナボアなど10種以上の「蛇」を飼育しております。第2、第4日曜日に実施している「は虫類とおともだちになろう」では、ヘビやトカゲなど、は虫類にふれたり近くで観察したりすることを体験していただいております。また、自然動物館では蛇の抜け殻が展示してあり、この抜け殻に直接接触することはできませんが、もしかしたら巳年にちなんで来園者の皆様や東山動植物園に大きな福をもたらしてくれるかもしれません。

今年にはコアラやコモドオオカゲなど人気動物ベストテンに入る動物たちが注目されましたが、巳年をきっかけに自然動物館にもぜひ足を運んでください。

(動物園長 細江)





オワリサンショウウオの

保全と飼育下繁殖^{はんしよく}

1 オワリサンショウウオとは

サンショウウオと聞くと大きなオオサンショウウオを思い浮かべる人がほとんどかと思えます。しかし日本にはオオサンショウウオの他に、全長が10cm前後の小型のサンショウウオの仲間が50種類以上生息しています。名古屋市内にもこの小型のサンショウウオの1種が野生で生息しています。このサンショウウオは、2022年に大学との共同研究で「オワリサンショウウオ」と命名され、愛知県西部の固有種として新種記載^{きさい}されました。といっても存在が確認されていなかったサンショウウオを新たに発見したわけではありません。元々この地方に生息しているサンショウウオは、ヤマトサンショウウオの名前で奈良県や三重県などに生息している種と同種として認識されていました。



オワリサンショウウオの卵囊



オワリサンショウウオの成体

2 新種オワリサンショウウオに至った経緯^{けいゐ}

東山動植物園の動物飼育職として働くようになってから、3年目に両生類の担当になりました。当時両生類の事について何も知らない私でしたが、たまたま東山公園の森の中にサンショウウオが生息していることを知り、名古屋市内にサンショウウオが生息していることに不思議な魅力^{みりよく}を感じました。そこで、1999年より東山公園の中に生息しているサンショウウオの調査を開始しました。調査を毎年進めていく中、生息数や生態^{せいじょう}などが徐々に分かるようになっていき、名古屋市内のサンショウウオの生息域内保全活動にも参加するようになっていきました。さらに、名古屋市内のサンショウウオの遺伝的多様性や食性^{たずさ}などの研究にも携わるようになり、益々この地方のサンショウウオについて理解を深めていきました。そんな中、高知大学の研究者からサンショウウオの新種記載に関する共同研究のお誘い^{さそ}を受け、この地方のサンショウウオの保全^{つな}に繋げることを目的とし、研究に参画することにしました。これまでの研究の中で、この地方のサンショウウオは遺伝的多様性が他府県にくらべて低いことや、また生息域内保全活動を通じてサンショウウオにとって決して恵まれている環境^{かんきょう}ばかりでないことも把握^{はあく}していました。保全を行うにはまずその保全対象である種を知ってもらう事が大切です。オワリサンショウウオとして新種記載されることによって知名度向上を目指し、この地方のサンショウウオの保全活動に拍車^{はくしゃ}をかけたいという願いもありました。

3 自然動物館において飼育下繁殖に成功

動物園北園・自然動物館の2階両生類コーナーに、現在もオワリサンショウウオは飼育展示されています。新種記載される以前から飼育展示していましたが、野外での調査データを飼育下に応用し、繁殖を促すことを試みました。

野生下での観察の中で、厳冬期から徐々に水温が上昇し、2月下旬頃の8℃前後になったときに産卵活動が始まるということが分かっていたこと、それと同時にまとまった雨が降ることも産卵が始まるきっかけになることが分かっていたため、飼育展示水槽内で低い水温から徐々に上げ、繁殖期である2月下旬に水温を8℃に設定すると同時に、雨を再現するために水槽内に一日に何度か水をかけ、産卵のための水辺の水位を上昇させました。さらに、この地方のサンショウウオは、真冬でも餌を採食していることが自身の研究で分かっていたため、水温を低下させていた時期にも、餌を与えるようにしました。その結果、2003年に初めて1匹のメスを産卵させることに成功しました。しかし、初めて産卵した卵は発生に至りませんでした。その後、2006年に再び産卵に成功し発生が確認でき、初めて飼育下繁殖に成功しました。それからは2008年、2016年、2017年と繁殖実績があり、現在13匹の繁殖個体をバックヤードにて飼育管理しています。



東山動物園で繁殖した様子



展示水槽

4 この地域の個体群を守る

新種記載にあたり基準産地を、前述した東山公園内で1999年からサンショウウオの調査を行ってきた場所にしました。この場所は名古屋市が管理所有している場所であり、東山動植物園再生プランの新基本計画では、東山の森に生息しているオワリサンショウウオの生息域内保全を掲げています。また、基準標本の子孫11個体を東山動植物園のバックヤードで飼育し、学術的にも貴重な遺伝子資源を維持しています。

野外での調査での取り組みは本紙61号の「動物園長のエッセイ」の中でも、オワリサンショウウオの新種記載に関わった調査研究として紹介しています。

長年にわたる調査研究を元に、飼育下への応用や保全につながられたことは、動物園の飼育係として非常に意義が大きいことだと思っています。今後も、東山公園の中の保全活動に生息域内・外の両輪で積極的に関わると共に、展示を通じて来園者の方々に小さなサンショウウオの事を知ってもらい、サンショウウオと共に生きられる社会づくりを推進していきたいと願っています。

飼育第2グループ 藤谷



孵化して間もない幼生

出展

藤谷武史, 2000. 名古屋市東山公園におけるトウキョウサンショウウオの調査. 両生類誌 (4): 9-12.

藤谷武史・伊原禎雄, 2006. 名古屋市カスミサンショウウオの一腹卵数と体サイズの観察. 爬虫両棲類学会報 1:70-71.

藤谷武史・能登原盛弘・熊澤慶伯, 2016. ミトコンドリア DNA 塩基配列を用いた名古屋市及び周辺地域におけるカスミサンショウウオの遺伝的多様性の研究. 爬虫両棲類学会報 2016 (1): 1-12.

M. Matsui, H. Okawa, K. Nishikawa, G. Aoki, K. Eto, N. Yoshikawa, S. Tanabe, Y. Misawa, and A. Tominaga, 2019. Systematics of the widely distributed Japanese clouded salamander, *Hynobius nebulosus* (Amphibia: Caudata: Hynobiidae), and its closest relatives. *Current Herpetology* 38(1): 32-90.

Sugawara H, Fujitani T, Sawahata S, Nagano M. 2022. Taxonomic re-examination of the Yamato salamander *Hynobius vandenburghi*: description of a new species from Central Honshu, Japan. *Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science)* 51:47-59.



たぬきの里の物語

本年4月から「タヌキの里」を担当することになり、まずは個体の識別をすることから始めました。個体ごとの特徴が分かる個体カードを作成して目の前のタヌキと向き合いますが、見分けるのには今でも苦労をしています。しかし、じっくり観察をしていくと、一見同じように見えるタヌキたちもそれぞれに個性があり、見せる表情やしぐさもさまざま、それを見つけるのも日々の楽しみでもあります。

「ナラティブ」という言葉があるそうで、筋書きの意味で使われる「ストーリー」とは違い、語り手自身が紡いでいく物語のことを指す言葉だそうです。これからも、里のタヌキたちが生き生きと暮らしていける環境を整えていきたいと考えています。



飼育第一グループ1班 水野

そこ、お願いします!

本園のほぼ真ん中にある食肉小獣舎しょうじゅうしゃでは20歳になったオスのジャガーのアスカを飼育しています。高齢ということもあり新しいジャガー舎への引越はせず、のんびりと小獣舎で生活しています。アスカはとてもマイペースな性格で、お気に入りの台に寝そべて日向ぼっこや人間観察を楽しんでいます。いつもはとっても凛としてとってもカッコいいアスカなのですが、魔法の?棒を持って近づくと、ここ掻いて

ください!と言わんばかりに首や背中を柵に押しあててきます。

新ジャガー舎に注目されがちですが、小獣舎でのんびり暮らすアスカにもぜひ会いに来てください。カッコいいアスカも素敵ですがネコのように甘えるアスカも魅力的です。魔法の棒は飼育係がこっそり持っているので甘えるアスカに会えたらラッキーかもしれません。



飼育第一グループ2班 大松

アジアゾウのウンコの重さ

アジアゾウのオスのコサラの体重は約5000kgあります。この大きな体を維持するため、牧草の青草や乾草のほか、木の枝、竹など、毎日だいたい100kgくらいのエサを与えています。こんなにたくさんの量を食べるので、排泄するウンコの量も大量です。

アジアゾウの担当者の一日の作業は、ゾウたちが夜間に排泄したウンコを集めてカゴに入れ、トラックに積み込むことから始まります。コサラは夜間の分だけでもカゴに山盛

り二杯あります。山盛りのカゴ一杯は、二人がかりでようやく持ち上げることができるほどのたいへんな重さです。ただ、ここ数年間、ウンコの重さを計ったことはありませんでした。調べてみると、他の動物園では50~100kgくらいとの記述があったりします。コサラはもっと多いような気がします。興味がわいてきたので、実際にコサラの一日分のウンコの重量を計ってみることにしました。

600kgまで計測できるデジタルはかりを用意し、コサラが排泄したウンコを乗せていき記録しました。結果は夜間分だけで、なんと118.8kg!昼間は50.5kg、そして合計は169.3kgでした。



ん、あきらかに与えたエサの重さよりウンコのほうが重いぞ。どういこと?

新たな疑問が発生したので、これからも定期的に計測してみようと思います。

飼育第一グループ3班 渋谷

サル舎の仲間たち

サル舎は北園フクロテナガザル舎前の8部屋横並びの長屋式の動物舎です。

この動物舎で暮らすサルたちを紹介し、向かって入り口側から、

- ①ワオキツネザル(メス「モナ」)
- ②ヒゲサキ(オス、メス1頭ずつ)
- ③クロシロエリマキツネザル
(オス「ジャック」「ショウ」、メス「エリコ」)
- ④ワオキツネザル(オス「ゴン」メス「ラン」)
- ⑤アビシニアコロボス(オス「アポロン」)



- ⑥サバンナモンキー(オス1頭、メス3頭)
- ⑦マンドリル(メス「ニコ」)
- ⑧マンドリル(オス「マンジュウロウ」)です。それぞれのサルに応じて、飼育環境に彩りを加えて変化をつけております。



計15頭それぞれの暮らしぶりをご覧に、ぜひサル舎にお越しください。

飼育第二グループ1班 水谷

今シーズンも繁殖を

世界のメダカ館では木曾川水系のイタセンバラの飼育・繁殖に取り組んでいます。

イタセンバラは濃尾平野・富山平野北西部・琵琶湖淀川水系の3ヶ所^{のうひ}にのみ生息する日本固有種で、環境省レッドリストの絶滅危惧IA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)に分類されています。

秋に繁殖期を迎え、卵を二枚貝^{むか}の中(エラ部分)に産み付けます。孵化した仔魚は貝^{むか}の中で冬を越し、5月頃貝から出て秋までに一気に成長し、繁殖を行い1年で寿命を迎えます。

メダカ館では2023年秋に卵を産み付けられた貝から200匹を超える仔魚が泳ぎ出し稚魚へと成長しました。

この稚魚を種親として今年も来年に命を繋げられるように繁殖の準備を整えました。

稚魚達を秋までに繁殖に適した大きさに育て、水質の安定や隠れ場所のために水草を整える、産卵場所となる二枚貝を入れるタイミングを調整する等々々々。

最後は魚達に任せるしかないので、来年



の5月頃に仔魚が出てくるのを心待ちにしています。

飼育第二グループ3班 渡辺

新しくモルモットが仲間入り!

モルモットにはいろんな種類がいるのをご存知ですか?実はモルモットには大きく分けて12種類以上います。これらは品種改良によって生まれたものです。まず1番メジャーな種類がイングリッシュです。ふれあい広場のモルモット大半がイングリッシュを占めています。特徴は短毛でストレートな体毛をしています。次に多いのがアビシニアンです。特徴は全身に複数のつむじがあります。以前のふれあい広場ではこれらに加え



全部で3品種のみでしたが、最近新たな種類のモルモットが仲間入りしました。中でも特に珍しいのが、ペルビアンという種類です。特徴は背毛が地面に着くほどの長い体毛です。他にもティベアのような体毛をしているティディという品種など現在は全部で8品種のモルモットがふれあい広場に



ます。このモルモット達は天気がいい日は、野外の展示場にいたり、平日はモルモット講座で見ることができます。ふれあい広場に来た際は、今日はどんな種類のモルモットがいるのかぜひ見てみてください。

ふれあい広場 尾崎

治療時の動物の捕獲と 保定あれこれ

～有効と安全、最小限の負担で～

飼育動物を治療する際、対象動物に対して色々なアプローチの仕方があります。例えば、視診・担当者からの情報収集の結果、まずは経口投薬を要となった場合、ヒトのように薬のみを直接に飲み込むこともあります。大半はその動物の餌に混ぜて食べてもらいます。ただ、これも簡単にはいかず、嗅覚が優れた動物たちは瞬時に餌の”異常”を察知することが多く、飼育担当者の努力に委ねることになります。

実際に動物に対して、注射・外傷治療などで、捕獲・保定をして治療・処置をすることは多く、その動物の種・大きさによって、その方法は様々です。例えば、「カンガルー病」という病名の口腔疾病に罹患したカンガルー科の動物には、初期段階であれば、注射による抗生剤投与をします。写真Aのように、尾を捕まえて動きが止まった時にすばやく注射をします。毎日の注射治療となると動物たちは何とか捕まらないように”逃げ上手”になり、捕獲者はその逃げ方の先読みをするちょっとした苦勞を要します。

尾を捕まえての保定は単純で安全な部類での一例にすぎず、殆どの場合、対象動物が素早く逃げ、また攻撃的になり、捕獲のための道具を用いることになります。写真Bは色々な「たも網」で、捕獲する動物に合わせて選びます。捕獲・保定して、網越しに注射・外科的処置などをします。引き続き、麻酔下で詳しく検査をする際には、注射による麻酔、また吸入麻酔であれば、網越しに動物の口鼻にマスクをあてて眠ってもらいます。写真Cは、少し大型の草食獣、例えばニホンカモシカの捕獲の際に使用します。大判の網を広げておいて、向かってくる対象動物を覆いかぶせて抑え込みます。緊張感のある捕獲方法です。治療時の場合もありますが、飼育場所の変更・輸送箱への収容などに有効な方法です。この方法は過去には頻繁に実施していましたが、近年はすっかり減りました。というのも、この”緊張

感”は時に「職員の受傷につながるのでは」という配慮から職場環境のより安全を求める現在では、必然的なことかもしれない。

写真Dは遠隔にいる動物に対して、対処する道具で、投薬器に必要な薬を入れて、銃や吹き矢によって、その投薬器を飛ばして、動物の体に刺さるとガス圧で注入されます。人の力では抑え込めない、また危険必至な動物に対して使用します。過去の例ですが、クロサイの尾が何らかの事故で切れて化膿してしまい、大量の抗生剤の筋肉注射を要した際に、サイの堅く分厚い皮膚に注射するには、至近距離でも、銃の威力を要したこともありました。この投薬器に麻酔薬を入れて動物に刺されれば、緊張感の中での捕獲をすることなく、麻酔下に導くことができます。

動物の種類の違いによる捕獲・保定の方法は、まだまだあります。日常の治療時に、その時に応じて、安全で有効かつ負担の少ない方法を心得て実施しなければなりません。日々の勉強と経験が求められます。



(写真A) アカカンガルーの注射治療



(写真B) 色々な たも網



(写真C) 大判の網



(写真D) 麻酔銃と吹き矢

(指導衛生グループ 中村)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2027年5月31日、動物取扱責任者:今西鉄也

箒(ほうき)という道具を辞書で調べると、「ごみやちりなどを掃く用具」と説明があります。今は使う機会が減ってはきていますが、まだまだ私たちの身近にある道具です。

箒は用途と主材料によって色々なものがあります。ざっと紹介すると…。

庭を掃く「竹ほうき」は文字通り竹の枝、モウソウチクの枝が主材料になります。また柄はホテイチクやマダケを使ったものがあります。

家のなかを掃く座敷箒は、ホウキモロコシというイネ科の一年草を主材料とする箒で、晩春に種をまき、70～80日で穂を収穫します。主に東日本で好まれ使われていました。

シュロの幹の皮を穂先の主材料に使った棕櫚帚は、主に西日本で好まれ使われていました。

黒シダ箒はアレンと呼ばれているサトウヤシから取り出した繊維を主材料に使った箒で、穂先が細くやわらかいためホコリや砂の多い玄関フロアやベランダに適します。

赤シダ箒はパルミラと呼ばれるオウギヤシの葉柄から取り出した繊維を主材料に使った箒で外を掃くのに使われ、コシの強いのが特徴です。明治40年ころに棕櫚箒の代替品として作られ、現在でも使われています。

葉脈箒はヤシの葉脈部分を取り出し束ねて主材料に使った箒で、庭や芝生、コンクリート面を掃くのに使われています。

その他、ハギで作った箒や萱(ススキ)で作った箒など、汎用品でないけど箒の材料になった植物はいくつかあります。

ここで、「ホウキ」と名の付く植物に目を向けると…

コウヤボウキは高野山でタケを植えることが禁じられたために、ほうきの材料として代用されたことから和名がついたキク科の落葉小低木です。

ホウキギはコキアとも呼ばれるアカザ科の一年草で、茎を根際で刈り取って乾燥させそのまま箒として使います。また、成熟した果実は加熱加工して「とんぶり」という食品になり秋田県の特産品となっていますが、実際には秋田県の大館市のみで生産・販売しているようです。

箒一つをとっても、先人たちの知恵と工夫が感じられ、何だか感慨深いですね。

(植物園長 下総)





植物管理人だより

松は飛んで ナワバリを広げる

クリスマスの飾りつけで松ぼっくりを見かけるようになりました。さてタネは？

タネは一枚一枚のすき間に「つばさ」のような部品を付け、挟まれています。乾いた日にすき間を広げ、高い木から風に吹かれて、遠くへ飛ばされていきます。雨の日は遠くへ行けないので松ぼっくりが開かず固く閉じています。

タネをまいてみました。少し土のかぶせ方が少なかったせいか、タネの殻が取れずについていますが、可愛い芽ばえを見ることができました。春に花が咲き、翌年の秋にタネが完成し、飛びだしていきます。松ぼっくりは一年中ポツポツと落ちてきますが、タネを



- ①コップ入れ水につけた
- ②乾くと開く
- ③すき間から取り出した
- ④左がつばさ、黒い粒がタネ

飛ばした後、春に松ぼっくりが落ちること多いように思います。ちなみにタネは木についているときにほとんど飛んでいますので、落ちているものにタネは少ないです。



芽生え写真



雄花の写真



全体的な写真

緑地造園班 小山

キシウテンガイの 葉の変化と成長

洋風庭園から多肉植物室に入ると真ん中の植込みの中にキシウテンガイが植わっています。葉は2枚しかなく、2枚の葉は一生伸び続けるという奇想天外な植物です。成長はとてゆっくりで栽培し始めた頃、生きているの

か心配になることもありました。

そのキシウテンガイを移植してまると4年。今まで撮り貯めた記録写真を見ながら、ゆっくり成長するキシウテンガイを紹介します。

写真①移植後1か月ごろのキシウテンガイ。葉の艶が良く移植が成功したと思いました。

写真②移植成功と思われましたが気温が上がり始めた春、急に葉が枯れ始める。でも株元を見ると葉が伸びてきている。

写真③健全な葉の面積が多くなったため葉

の枯れた部分が目立たなくなってきた。

写真④今年のキシウテンガイ。うねうねと伸びる葉に迫力を感じる。

過去の撮りためた写真をならべてみたら、葉の力強く動く様子がわかるのではないかと期待しましたが意外と代り映えの無い姿でした。

興味を持たれた方は是非実物を見に来てください。葉の迫力に驚くと思います。

中心部は葉伸び始める



写真① 2020.12.14撮影



写真② 2021.5.24撮影



写真③ 2022.8.15撮影

葉の枯れた跡 移動している



写真④ 2024.10.16撮影

指導園芸班 大須賀

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が刊行している、世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリスト。各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成している同様のリストもレッドリストと呼ばれる。日本の環境省レッドリスト2020において、1,790種(維管束植物)が絶滅の恐れのある種として掲載。

チャンチンモドキ

分類：ウルシ科

学名：Choerospondias axillaris (Roxb.) B.L. Burtt & A.W. Hill

分布：九州、中国(西部・南部)、東南アジア北部、ヒマラヤ

絶滅危惧ランク：絶滅危惧IB類 (EN) 環境省 2020



雄花(花園橋付近)



雌花(合掌造りの家東側)



落下了した果実(10月)



5つの窪みのある核

EN
2020環境省
レッドリスト

絶滅 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

手 チャンチンモドキは高さ10~20mになる落葉高木です。葉は奇数羽状複葉で、その形がセンダン科のチャンチンに似ていることからこの名がついたと言われています。

花 期は5月で、褐紫色の花をつけます。雌雄異株で雄花は4mmほどの小さな雄花序を葉の腋に円錐状につけ、下向きに咲きます。雌花は8mmほどで葉の腋に一つずつ咲きます。

花 の後に2~2.5cmの楕円形の果実ができます。10~11月には熟して落下します。果実の中には直径1.5cmほどの5つの窪みのある核があり、「五龍眼菩薩樹」として数珠の材料にすることがあります。

植 物園の合掌造りの家の東側には大きな雌木がありますが、背が高いので小さな雌花を見つけるのはとても大変です。一方、花園橋の横には雄木があり、スロープから雄花を近くでご覧いただけます。

(植物園 野村)

冬のおすすめ植物

こんな寒い時期、植物園へ行っても何もないわ、という声が聞こえてきそうですが、動けない植物が、寒い冬を乗り越えるために工夫している姿を見て感じて知って、元気をもらおう。そんなことも植物園の楽しみ方の1つになればいいなと思います。

いろいろな冬芽

寒い冬、芽の状態ですごす植物はたくさんあります。そんな冬芽の中には、葉や花の赤ちゃんが入っています。大切な中身を守るため、植物はいろいろな装いで冬を過ごします。モクレンの仲間は、まるでアンゴラのセーターのようなふわふわな毛をまとって過ごします。ブナの仲間は、何枚も重ね着をして暖かくして過ごします。

なんだか、私たちの冬の過ごし方に似ていますね。

厳寒期に咲きだす黄色い花

こんな寒い時期でも花開く植物があり、他の植物に先立って黄色の花が咲きだします。明るくエネルギーに満ちた黄色は、私たちにとっても春がもうそこに来ているという暖かな気持ちにさせてくれます。黄色はハエやアブなどの小型の虫が好む色と言われて、まだ活動する虫の少ない寒いこの時期、黄色をまとって、全力で虫たちをお迎えして花粉を運んでもらうようです。早春の小道に咲く2種類の黄色い花を紹介します。



コブシ



オウシュウナラ

●ロウバイ *Chimonanthus praecox* (L.) Link. ロウバイ科

中国原産の落葉低木で、日本へは江戸時代の初めに、朝鮮半島から入り、庭園樹として花の少ない冬の庭園を彩ります。英名をウィンタースイートと言い、甘い香りも魅力的な花です。花の内側も全部黄色いソシンロウバイという種類もあり、これもまたきれいです。

ロウバイは、夏になるとこれがロウバイの実?!というようなおもしろい実ができます。花からどんな風に変化して実になっていくのか、観察するのも楽しいですね。



ロウバイ



ソシンロウバイ



ロウバイの実

●マンサク *Hamamelis japonica* Siebold et Zucc. マンサク科

日本の山野に分布し、早春に咲く花を「まず咲く」というのが、東北弁で「マンズ咲く」が訛ってマンサクと名が付いたそうです。ロウバイより少し遅れて咲き始めます。彩りの少ない冬の時期に、リボン状の4枚の花弁がよく映えます。

同じマンサク科の中国原産のシナマンサクは、花色が、日本に自生のものより鮮やかな黄色で、花弁も長く華やか感じが好まれ、庭園の花としても植えられています。



マンサク



シナマンサク

「身近な自然を楽しもう(秋編)」を かさい 開催しました

令和6年10月12日(土)に、植物園の定例講座「身近な自然を楽しもう」の秋編を開催しました。今回のテーマは「秋かざを飾ろう」。植物園のガイドボランティアさんと園内を歩き、この時期ならではの植物の楽しみ方や観察の仕方を教わりながら、落ち葉や木の実など秋の森の落とし物を探します。

持ち帰った落ち葉や、あらかじめ植物園スタッフが用意した材料をカラフルなひもで木の枝につなげて、かわいいモバイルをつくりましたよ。バランスをとるのがとてもむずかしいけれど、ボランティアさんにもお手伝いしてもらい、楽しい秋の思い出ができました。



初めて見る木の実の説明に、興味津々



きれいな落ち葉や木の実を並べて楽しそう



「身近な自然」講座は、例年春と秋に開催します。今年度の講座は終了しました。次回春講座の詳しい予定は、令和7年3月ごろ発行される「令和7年度講習会開催予定表」でお確かめください。東山動植物園WEBページでもご覧いただけます。

動物たちをそっとささえる

東山動植物園

Higashiyama ZOO & BOTANICAL GARDENS

応援定期預金



名古屋銀行では、「いのちつなぐパートナー」として毎年、動物たちのえさ代等にお役立ていただく寄付を実施しています

抽選で
あたる!!
PRESENT



名古屋銀行
オリジナルツアー

10グループ(1グループ最大5名さま)



東山動植物園
オリジナルグッズ

50名さま



●8月15日と2月15日を基準日として、東山動植物園応援定期預金に10万円以上の残高があるお客さまを対象に抽選を実施しています。※窓口でのみお申し込みいただけます(東京支店、大阪支店、インターネット支店、ATM、ローンセンター、各プラザを除く) ※賞品は選べません ※A賞・B賞の内容は、予告なく変更・中止する場合があります

名古屋銀行は
東山動植物園を
応援しています



名古屋銀行



名古屋銀行は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



コアラ

KOALA

栄養価の低いユーカリが主食。
一日の約20時間を寝て過ごす。

2本の足で立ち上がって
パンザイするのは
威嚇をしているとき。



RED
PANDA



ニゴリラ
WESTERN
GORILLA

じつはおとなしく、
性格は慎重派。

SUMATRAN
ORANGUTAN

木の上で暮らす動物の中で
一番大きく、両手を広げると
2mを超えることも。



ネコ科としては珍しく水を嫌わず
泳ぐこともあり、木に登ることもある。



スマトラ
SUMATRAN
TIGER

読者の声 ~69号アンケートより~

植物園のバスを
もっと増便してほしい。



シャバーニ様かっよかった。
説明のパネルも詳しくて家族構成が
わかって親しみが湧きました。
どうもありがとうございます。



広い敷地に
動物と植物を
見に行ける
ところがいい。

足を運ぶ毎に施設が
新しくなっていて楽しいです。
マヤのプールタイムに
癒されました。

動物病院日誌を
楽しく拝見
しております。



今回、タヌキの里休憩場を
利用させていただき、
無料で給水できたのは
ありがたかったのでこういう
場所を増やしてほしいです。

68号の表紙のフェネックかわいいですね。
動物園のおみやげにフェネックの
ぬいぐるみを頂いたことがあります。
めずらしいぬいぐるみがあるので
ギフトショップも楽しいです。



色々なメダカの
仲間がいて
おもしろかった。



物価が上昇し、えさや修理など金銭面が大変な中、
子どもたちと校外学習で学べる有り難さに
感謝したいです。ありがとうございます。

いつも夫婦で楽しく見えています。
毎月通っているので、
これからも通います。



レクチャー
ツアー
楽しかったです。

ひがしやま 70 号のクイズの答え

Q 和名でサルスベリという植物がありますが
中国ではどのように言われているでしょうか。



- ① 一日紅
- ② 十日紅
- ③ 百日紅

A 正解は
③
百日紅
でした。

東山動植物園 ＊北園＊

＊大観覧車

名古屋の街を
みわたそう



＊遊園地＊

ジェットコースター

風を切って
走る!



●営業時間10:00～16:50(のりもの券の発売は16:40まで) 営業時間を変更する場合があります。

★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金
☆ミラーハウス	120円	☆モノレール列車	240円	☆大観覧車	360円	☆くるくるキリン	240円
☆ふしぎたんけんの館	240円	☆フラワーストーム	360円	☆ハニービー	240円	☆スロープシューター	360円
☆メリーゴーランド	240円	☆くまさんコースター	240円	☆ビックリハウス	240円	☆フライングイーグル	360円
☆ティーカップ	240円	☆コアラ列車	240円	☆ニューバイキング	360円	☆ジェットコースター	360円
						☆レッドバロン	360円

*1Dayパスポート・お得なチケット及びアトラクションの利用制限等、詳しくはホームページをご覧くださいURL:<http://www.higasiyama.jp/>

Café North Garden

カフェ ノース ガーデン



shop North Garden

ショップ ノース ガーデン



●動物ソフト3種類



●コアラカレー



●コアラグッズ(ぬいぐるみ2種類)



●コアラグッズ(タオル類)

裏表紙/フレーミング・トランペット Pyrostegia venusta

和名はカエンカズラ。ノウゼンカズラ科の常緑樹で、花弁の先端が反り返りラッパ状となる。ブラジル原産。年始撮影。

(文/近藤)



フレーミング・トランペット

H I G A S H I Y A M A

Winter
2024

ひがしやま

71

名古屋市東山動植物園情報誌